

# 青 青山小だより

平成29年度 NO.10

発行日 平成30年 2月1日

港区立青山小学校 校長 下城 英和

tell .03-3403-5588 fax.03-3403-5589

mail : aoyama-es@minato-tky.ed.jp

HP : <http://aoyama-es.minato-tky.ed.jp/>

## 言葉を大切にする

副校長 高須賀俊秀

2月に入り一層寒さが厳しくなってきました。毎朝、子供たちは白い息を吐きながら登校しています。かじかむ手には手袋をはめている子もいます。家庭ではエアコン、ストーブ、こたつといった暖房機器で体調を崩さないように、また快適に過ごせるようにしていることと思います。雪の多い地方では毎朝除雪車が道路の雪を除けて自動車が安全に走れるようにしています。屋根が温まって自然と雪が融けるようになっている家もあります。

これらは人間が寒さや雪に対して克服したり快適に過ごしたりするための工夫であり道具です。人間は生きていくために知恵を出し、工夫し、道具を生み出していく能力があるのです。道具を生み出し使うのは他の動物にはない人間独自の営みであると思います。

道具と同じように「言葉」を使えるのは人間だけです。人間が人間である証は“言葉を使えること”です。人間らしく生活するには正しく言葉を使うことが大切です。

では、正しく言葉を使うとはどういうことでしょうか。

### ○相手を思いやる心を言葉に乗せる

かけられる言葉によって人間の気持ちは大きく変わります。喜び、怒り、悲しみ・・・ほんの一言で心は揺らぎます。また、自分にかけてられたのではなくても、周りで聞く言葉で嬉しくなったり不愉快になったりすることもあります。そして、言っている本人も自分の発した言葉により意識がそちらへ向かっていきます。言葉の力は大きなものがあります。

### ○話す相手や状況によって言葉を使い分ける

自分よりも目上の人と話すときや公の場では敬語や丁寧な言い方をしなければなりません。先生と話すときと友達と話すとき、授業中と休み時間では話す言葉は違います。目上の人にぞんざいなものの聞き方をすればきちんと答えてくれないうでしょう。また、多くの人前で話すときに丁寧な言い方ができなければ聞いている人には正しく伝わりません。

### ○自分の考えをきちんと言葉で伝える

「自分の考えていることを相手はわかってくれるだろう」と考えるのは甘えです。相手に分かるように伝える努力をする必要があります。そして聞く方も相手が何を伝えたいのか一生懸命に考えながら聞くことが大切です。学校でもペアやグループで対話をしながら友達の考えを理解し、自分の考えを深め広げる学習を続けています。

言葉を大切にすることは人間を大切にすることです。相手を大切にしよう、尊重しようという気持ちがあれば自然と言葉は丁寧になります。逆もまた言えると思います。そして、相手を大切にすることは自分を大切することにつながります。言葉を大切に、自分を相手をみんなを大切にしたいと思います。